

広域計画等フォローアップ委員会小委員会の開催結果について

平成30年11月21日
本部事務局I. 小委員会の設置・開催について

第3期広域計画に掲げる「広域連合が目指すべき関西の将来像」に係る3つの基本的な考え方(※1)を軸に、今後関西広域連合が目指すべき将来像とその実現のために必要な施策について議論を深めるため、「人の環流と国土の双眼構造・分権型社会」(木村陽子委員長)及び「人の環流とアジアのハブ機能」(加藤恵正委員長)をテーマとした2つの小委員会を設置し、それぞれ2回ずつ会議を開催し、各会議においては、検討項目に沿って意見交換を行った。

次回のフォローアップ委員会において、論点整理等を行う。

※1 広域連合が目指すべき関西の将来像に係る3つの基本的な考え方

- (1) 国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西
- (2) 個性や強みを活かして、人の環流を生み出し、地域全体が発展する関西
- (3) アジアのハブ機能を担う新首都・関西

1 「人の環流と国土の双眼構造・分権型社会」に関する小委員会

(1) 第1回

日時：平成30年9月19日(水) 10:00~12:00

場所：関西広域連合本部事務局 大会議室

出席者：木村委員長、梅原委員、加渡委員、坂上委員、山崎委員(計5名)

(2) 第2回

日時：平成30年11月1日(木) 14:00~16:00

場所：関西広域連合本部事務局 大会議室

出席者：木村委員長、松永副委員長、梅原委員、坂上委員、新川委員、山崎委員(計6名)

2 「人の環流とアジアのハブ機能」に関する小委員会

(1) 第1回

日時：平成30年10月4日(木) 10:00~12:00

場所：関西広域連合本部事務局 大会議室

出席者：加藤委員長、大南副委員長、上村委員、新川委員(計4名)

(2) 第2回

日時：平成30年11月15日(木) 15:00~17:00

場所：関西広域連合本部事務局 大会議室

出席者：加藤委員長、大南副委員長、坂上委員、松原委員(計4名)

Ⅱ. 議論の概要

(1) 「人の環流と国土の双眼構造・分権型社会」に係る小委員会

検討項目：人の集中是正

- 大学での教育に関し意見が交わされ、新しいこと、関西でしか学べないこと、実用的な英語能力など企業が必要とする人材の育成などについて意見が出された。
- また、大学の連携やグローバル化の必要性や、人材の育成のための大学と経済界との連携について意見が交わされた。
- 働く場として関西が注目されるためには何をすべきかについて、子育て支援の充実による育児と就労の両立、副業の促進による多様な働き方推進等の意見が出された。

検討項目：関西への投資を促進するためには

- 関西への投資を促進するために必要なことについて議論され、新しいものを創造する環境（知的対流拠点）の整備、最新の職業訓練による人材の育成などの意見が出された。
- また、首都圏に比した地価の安さをアピールすべき点が指摘された。
- さらなる国際観光への対応（十分な対応ができていないところの底上げ）や地域ブランドの活用による輸出の促進、地域特性に合った観光施策の展開の必要性について意見が交わされた。
- 世界規模のスポーツ大会の誘致やエシカル（倫理的）な大会運営、国際的に注目される博覧会の開催や関西独自の認証制度の創設について意見があった。

検討項目：関西をもっと便利に

- 新幹線ネットワークの構築の必要性や、伊丹・神戸両空港の積極活用による観光客の偏在の緩和の可能性などについて意見があった。

検討項目：国内における関西の位置づけ

- 関西の特性を活かすことや魅力の創出について意見が交わされ、関西の人々は既に沢山の貴重な資源があることを認識するとともに、農山漁村が持つ文化にも目を向けるべきとの意見が出された。
- また、自然環境と都市機能の近接をもっと強調すべきとの意見があった。

検討項目：世界から人やモノ、情報が環流する関西

- 世界から人やモノが環流する関西にするために関西はどうあるべきかについて意見が交わされ、ライフスタイルの豊かさが輸出に直結する時代であり、関西の人々が自分たちのライフスタイルなど、持っているものの価値を客観的に認識する必要があるとの意見があった。
- また、一人ひとりの価値観に寄り添える関西の実現が大切であり、それが実現できれば関西は世界のモデルとなりえるとの意見が出された。

検討項目：関西のそれぞれの地域の活力を失わないようにするため

- 関西が持つ、新しい文化を生み出し続ける力や、地域の特性を大切にすることについて意見が交わされた。
- また、統一的なマーケットとしての魅力を関西として出していくことが必要との意見が出された。

検討項目：各検討項目に共通する論点

- 「人の環流と国土の双眼構造・分権型社会」の各検討項目に共通する論点として、情報発信について意見が交わされ、情報発信のプラットフォームの整備や、広域連合が情報発信のハブ機能を持つこと、デザインの発想による効果的な情報の見せ方について意見が出された。
- また、広域連合が、デザイン経営（※1）という考え方の導入により、情報発信力が高まるのではないかと、との意見が出された。

※1 デザイン経営

デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する経営。①経営チームにデザイン責任者がいること ②事業戦略構築の最上流からデザインが関与すること の2点が必要条件。〈経済産業省・特許庁「デザイン経営」宣言〉から〉

その他

- 検討項目の他、次期広域計画を意識して、バックキャストिंगの方法により、30年後の関西での理想の生活を起点とし、産業とのつながりや理想の生活の実現のための財源の確保について考えていくべきとの意見が出された。

(2)「人の環流とアジアのハブ機能」に関する小委員会

検討項目：ソフト・パワー（※2）による国際競争力の強化

※2 ソフト・パワー

「強制や報酬ではなく、魅力によって望む結果を得る能力」『「立法と調査」(2011.9 衆議院事務局企画調整室編集・発行)』から

- ソフト・パワーを活用した国際競争力の強化について意見が交わされ、ソフト・パワーの関西らしい活用の方法・戦略の必要性や、ソフト・パワーを活用する際の進め方、ソフト・パワーに位置付けるものについての意見が出された。
- ソフト・パワーの活用に当たっては成果を急がないこと、ソフト・パワーで惹きつける人々の層について議論された。また、SDGs との連携の可能性について指摘があった。
- 関西はソフト・パワーの源泉となる資源が多いが、関西のソフト・パワーは低下しているとの指摘もあった。
- 万博を誘致できれば、関西のソフト・パワーの絶好の PR の機会となるとの期待の声があった。
- 中国や韓国ではなくなってしまう文化や伝統工芸が日本には残っていることを活用すべきとの指摘があった。

- 海外からの視察が多い、義務教育前教育や高齢化対策など日本の諸制度が注目されており、その活用についても示唆があった。

検討項目：関西をどう海外に売り出すか

- 関西の海外への売り込みについて意見が交わされ、府県市の海外事務所を通じた売り込み、海外の地域との信頼関係のあるつながりを通じた売り込み、IR との連携による売り込みなどの意見が出された。
- また、売り込むソフト・パワーの形成については、ソフト・パワーのベースとなる文化の育成の重要性、企業による芸術・文化活動を通じたソフト・パワーの醸成などについて意見が出され、先行事例・成功事例を追いかけないことの重要性についても指摘があった。関西各地において、その地域特性に応じた形で、アート・イン・レジデンスのほか、ポエトリー(詩)・イン・レジデンスなど、○○○・イン・レジデンスの展開といった提案もあった。

検討項目：関西の国際性を高めるには

- 働く場としての日本について意見が交わされ、日本人にとっても留学生にとっても働く場としての魅力が日本にないことや、そのことを踏まえた働き方改革の必要性、女性活躍推進と同様、多様な人材の活用の必要性について指摘があった。
- また、外国人材の受入れに当たっては、民間企業において、労働条件の明確化などこれまでの慣習を見直す必要が指摘された。
- 欧州連合の結束政策（※2）のような、基金を活用したプロジェクトの推進は有効。構成団体の出資により、関西圏内に投資していくような仕組みができないか。
- 大学に関して意見が交わされ、余裕のある高齢層をターゲットにした生涯学習の場の提供の必要性や、大学がそのような場の提供に取り組むことに期待すること、また、府県域を越えた連携（コンソーシアムの形成など）が望まれるとの意見が出された。

※2 結束政策：Cohesion Policy

EU 域内の各種プロジェクトへの投資を通じて、EU 域内の経済・社会・地域的格差の是正と総体的な成長を目指すもの。（駐日欧州連合代表部資料から）

検討項目：アジアのハブとなるために必要なインフラの整備

- 空港等に関して意見が交わされ、施設・設備やアクセスのみならず、LCC 等の航空便就航の状況も注目すべきことや、災害時の対応のためネットワーク化の必要性について指摘があり、船・フェリーについては、自転車を利用する外国人観光客にとっても便利であり、評価してよいとの意見があった。
- 主要な道路や港湾も、3空港（関空、伊丹、神戸）のような一体的運営の必要性について指摘があった。
- 情報通信に関し、通信速度の高速化に伴い、ソフト面での優位性がより重要となることが指摘された。

※各小委員会の議事概要については、関西広域連合ホームページに掲載予定（一部掲載済み）